

小胞体ストレス創薬研究

小胞体ストレス (ERS) 創薬プラットフォーム

①小胞体ストレス病態コネクター

※細胞、マウス、ヒト (疾患) の
情報統合による治療標的遺伝子の
高効率特定

②小胞体ストレススクリーナー

※全てのERS応答に対応可能な高い
スクリーニング技術

③小胞体ストレスエバリュエーター

※全てのERS応答を体系的に評価
できるモデルマウス群

原因にマッチした小胞体ストレス創薬

原因
1



糖尿病 他

折り畳み異常タンパク質が
凝集して細胞に毒

化学シャペロン

折り畳み異常タンパク質の
凝集を抑制する



原因
2



神経変性、免疫不全 他

小胞体ストレス応答が
低下して細胞が脆弱に

小胞体ストレス応答活性化剤

小胞体ストレス応答を活性化する



原因
3



がん 他

小胞体ストレス応答が
亢進してがん細胞が増殖

小胞体ストレス応答抑制剤

小胞体ストレス応答を抑制する



➡ 小胞体ストレス創薬で、これまでになかった治療を可能に